

# 鷲澤理事長 決意表明

## 長野にも聖域なき構造改革を

8月31日のNUPRI常任委員会で、鷲澤理事長を応援する後援会の設立が決定されました。その後の記者会見で、鷲澤理事長は、報道マスコミ各社を通して36万人の長野市民の皆さんに決意と具体的な政策に関する発表を行いました。



## 私の決意

理事長 鷲澤 正一氏

## 変革の時代への挑戦

21世紀に入り、日本は今までの成功体験では解決できない大きな構造変革の時を迎えています。既存の枠組みを不断の決意を持って創造的に破壊し、新しい社会に合った新しい枠組みをつくっていかなくてはなりません。それには、私は今一度、民主主義の原点に立ち戻る必要があります。結果でなく機会会の平等が図れる社会、情報開示が進んだフェアな社会を実現する事が、新しい社会の枠組みをつくる第一歩になると信じます。『自由で、多様且つ寛容、公平な社会』を合言葉に、夢と希望に溢れる魅力的な街をつくりたいと思います。

## 次世代のために全身全霊で

最近、昭和30年代の国鉄総裁を務めた石田礼助氏の評伝を読み感動しました。公的な仕事は本来無償の行為であるべきだという彼の信条に触れ、自分を無にして全てを公に捧げるといふ精神に少しでも近づきたいと感じました。全ての長野市民のために、そして、この街を継ぐ子供たちのために「責任を持って郷土を受け継げるよう、全身全霊をかけて取り組む事をお誓い申し上げます。

## 「心の資産」を大切に

長野は、もともと心やさしい善意に溢れる街であると思います。地域にあるこのような心がボランティア精神を生み、オリンピック・パラリンピックを成功させたと確信します。バリアフリーは勿論、ノーマライゼーションがいき渡る街をつくりたいと思います。豊かな自然は「ながの人」の誇りでありアイデンティティそのものです。高齢者が安心して心豊かに過ごせる街、また、男女共同参加社会を実現させ、安心して子供を生み育てることのできる街をつくりたいと思います。

長野は、もともと心やさしい善意に溢れる街であると思います。地域にあるこのような心がボランティア精神を生み、オリンピック・パラリンピックを成功させたと確信します。バリアフリーは勿論、ノーマライゼーションがいき渡る街をつくりたいと思います。豊かな自然は「ながの人」の誇りでありアイデンティティそのものです。高齢者が安心して心豊かに過ごせる街、また、男女共同参加社会を実現させ、安心して子供を生み育てることのできる街をつくりたいと思います。



- A 聖域なき行政改革
  - ① ニューパブリックマネージメント
  - ② 市民とのパートナーシップによる
  - ③ ディスクロージャー制度の充実
  - ④ 政策評価制度の充実
- B これからのまちづくりの
- C エコシティの理想に向けて
- D サービス業としての教育

# 未来のために 長野改革！ 元気なまちへ 舵を取れ

## 具体的な政策

### A 聖域なき行財政改革

創造的破壊によっていかに新しい秩序をつくるか、時代に合った行財政の在り方について模索し実行したいと考えます。

#### ニューパブリックマネージメントの導入

民間化が可能な事業はエージェンシー化したり民間委託し、PFI等の手法も採用し、採算性を意識した体制にしたいと思えます。企業経営のエッセンスを導入し、爽やかな緊張感ある職場環境をつくりたいと思えます。

#### 市民とのパートナーシップによる街づくり

NPO活動やグラウンドワーク等、市民の積極的な参加を支援します。市民と行政は共に地域の課題に取り組むパートナーだという認識を持つことが大切です。

#### ディスクロージャー制度の充実

市民とパートナーシップを結び街づくりを進めるには情報開示は欠かせません。公の利益に反しない範囲で何処まで開示できるか検討したいと思えます。

#### 政策評価制度の充実

政策について色々な立場の方とオープンに議論し、市民の皆さんの厳しい評価の下で緊張感ある運営を行いたいと思えます。現在ある政策評価制度を充実させ、より開かれた政策評価や議論が行われるようにしたいと思えます。

### B これからの街づくりの考え方

それぞれの地域の性格付け、特性を議論しながら、社会的な二重投資等を起こさぬよう均衡ある発展を目指します。中心市街地の空洞化は緊急避難的な課題として解決に努力します。市民が自発的に街づくりに参加できるように、NPO等の活動を支援したいと思えます。

### C エコシティの理想に向けて

先進的なエコシティを実現する事で、住民の安心と観光都市長野の付加価値を高めたいと思えます。CO<sub>2</sub>削減のための具体的な数値目標を掲げたり、ゼロエミッション社会実現に向けてあらゆる可能性を

模索したり、ゴミの分別収集に協力をお願いしたり、行政レベルでできることは全て取り組みたいと思えます。また、バス路線の見直し、パークアンドライドの実現も推進したいと思えます。

### D サービス業としての教育

子供は地域の宝です。学校、家庭は勿論、地域の中で大切に育む環境を整える必要があります。通学区制度については、特色ある学校づくりを促し、学校間で緊張感を持って切磋琢磨し向上へと努めることが、学校教育のレベルを上げるために有効だと考えます。

### E 福祉政策の充実

障害を持つ人が自立できる環境、健常者にも障害者にもやさしいユニバーサルデザインの街づくりを実現したいと思えます。在宅介護の推進や、元気な高齢者に社会参加を促す事も重要です。おでかけバスポート制度の適用範囲の拡充等、積極的に対応したいと思えます。

### F 男女共同参加社会の実現と少子化対策

あらゆる分野への女性参加を進めるとともに、審議会等の政策決定への参加を促進し、女性の地位向上と発言権の増大を図ります。子供を生みやすい環境、安心して子供を育てていける環境を整備したいと思えます。ファミリーサポート制度の推進、福祉医療費給付金制度の充実を図ります。

### G 理想的IT都市を目指して

市役所内のIT化による行政改革を進め、組織の無駄を廃止します。市民とのネットワークを繋ぎ双方向で行政サービスを提供できるようにするなど、地域全体の情報リテラシーを高める施策を行いたいと思えます。また、小中学校全ての教室にインターネットを接続し、教育ソフト購入の助成制度を設けるなど、次世代の情報教育に力を入れます。高齢者等にはIT研修会を実施したいと思えます。

### H 地方からも新産業政策の発信を

長野発の新産業を生み出したい、行政はそのお手伝いをしたいと思えます。研究者に望まれる環境を整備し、上場会社の研究所や高等教育機関の誘致の

可能性を探り、研究・学術都市を目指したいと思えます。大学を中心に行政や産業界も協力してTLOを組成し、新産業創造の中核にしたいと思えます。長野市民であるか否かを問わず起業家支援を行い、長野市に新産業が発生するようなシステムを構築したいと思えます。

### I 農林業政策への取り組み

農業集落排水事業等、生活環境や農道・林道の整備を通じて、中山間地農業の育成を図ります。遊休農地の活性化事業を行い、都市部の田園地域を維持できるように取り組みます。バイオ技術の開発による付加価値ある農作物の開発・生産、環境保全型農業も推進したいと思えます。

### J 国際化時代への対応

オリンピックの成功による国際的認知度を利用し、世界に向けて観光都市NAGANOをアピールしたいと思えます。長野から発信されIOCの正式事業となった1校1国運動を何らかの活動に位置付け、青少年の国際化を図りたいと思えます。姉妹提携している都市との市民レベルでの交流や、国際親善クラブ等民間での国際交流活動も支援したいと思えます。

### K 地方分権化社会の中で

域内57万の人口を持つ長野広域連合の中核として長野市はどのような責任を果たしていくべきか、政令指定都市を視野に入れながら研究したいと思えます。中核市となり県から引き継いだ多くの事務と権限の定着化を図りたいと思えます。

### L 危機管理の重要性

市民の命・財産をきちんと守ることは、地方自治の原点であり行政の責務です。犯罪・交通事故・火災・水害・地震・地滑り等あらゆる人災、自然災害から市民をどう守るか、専門家の意見を聞きながら万全を尽くしたいと思えます。

明日の舵取り応援団  
〒380-0834長野市問御所町1293  
http://www.kajitori.net  
TEL.026-231-5080  
FAX.026-231-5880